



ステファニー A.アーチェック
2024-2025年度 R1 会長



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840
TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB
Symphony Weekly



No. 8

会長/President 白石 隆 夫
幹事/Secretary 堀 口 芳 明
クラブ会報委員長/Committee Man of Weekly Report 発 地 富士雄
第 3 週 2024年9月20日 (金)
例 会 毎週金曜日
 点 鐘 12時30分
例 会 場 マリエール高崎
事務所/Office

高崎市本町144-1 光明第7ビル202号室
 T E L 027-328-3371
 F A X 027-328-3372
<http://www.takasakisympathy-rc.org>
 E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員/Office worker 浅 見 洋 子

本日のプログラム

会員卓話 君島准逸パスト会長

ロータリーソング 手に手つないで

第1235回例会報告

第2週 9月13日 (金)

会場：マリエール高崎「ハンプトン」
プログラム

会長の日「アサギマダラについて知ろう」
白石隆夫会長



御来訪者/Visitor 1名

児童養護施設希望館「八幡の家」

施設長 根岸深雪様



出 席 報 告

会 員 数	46 名
出席計算人数	45 名
本日出席者	32 名
本日出席率	71.11%
先々週出席率	休 会

御来訪者 根岸様よりご挨拶

児童福祉施設ミニサッカー大会の支援いつもありがとうございます。本年度も10月26日(土)に開催する予定です。どうぞ本年度もご支援の程よろしくお願い申し上げます。

幹事報告/Secretary Report

- ・9月7日上毛新聞にビューエルさんの講演会が掲載
- ・ガバナー月信9月号(テーブル毎)
- ・神戸東灘RC週報
- ・各クラブ例会変更
- ・米山梅吉記念館賛助会ご入会案内
- ・日本ユネスコ協会連盟2023年度活動レポート
- ・「手足の不自由な子どもたちを守り育む運動」への協力について(群馬県肢体不自由児協会)

委員会報告/Committee Report

- ・会員誕生日祝
豊泉 君代君
林 章君
吉井 弘子君



- ・配偶者誕生日祝

白石 隆夫君 島崎 真澄君

- ・出席率100%
君島 准逸君
高橋寿美江君



ニコニコBOX/Donator Niconico Box

- 井汲 憲治君 (暑いですね)
- 豊泉 君代君 (会員誕生日祝)
- 林 章君 (")
- 吉井 弘子君 (")
- 白石 隆夫君 (配偶者誕生日祝)
- 島崎 真澄君 (")



ロータリー財団BOX / Donator Rotary Foundation

三浦 敦朗君	白石 隆夫君	手島 均君
折田 慶太君	横山 正男君	安藤 淳君
長井 典夫君	浦野 幸男君	池田 貴明君
君島 准逸君	齋藤 達雄君	小野垣義男君
西野 宏君	林 章君	

米山奨学会BOX / Donator Yoneyama Scholarship

白石 隆夫君	折田 慶太君	堀口 芳明君
安藤 淳君	長井 典夫君	大久保伊津美君

広報委員会

ロータリーの友9月号記事紹介

安藤会員

葬儀参列、お心遣いへの御礼

歌 唱

「誰もいない海」「いい日旅立ち」
ソングリーダー 泉 省平君、横山 正男君
指 揮 安藤 淳君
伴 奏 大久保伊津美君



理事会報告 / Board of Directors (Report)

2024年9月13日、第7回(定例第3回)

- ・ 青少年交換留学生の受け入れについて…承認
- ・ 10月11日(金) 職場訪問について
…ガトーフェスタ・ハラダ、見学: 14:30、おみやげ有で承認
- ・ ミニサッカー大会支援の件
…例年通り支援で承認
- ・ 指名委員会立ち上げの件…承認
- ・ 地区補助金の入金報告…承認
- ・ 12月17日親睦イベントバレーの件
…3000円をクラブ負担で承認
- ・ ガバナー公式訪問について…例会前の懇談に役員・理事・地区出向者は出席することで承認
- ・ 高崎セントラルRC25周年花スタンド代の支払いについて…今年度支払いで承認

次回例会予定

10月4日(金) 12:30点鐘 通常例会
プログラム 会長の日 白石隆夫会長
ゲスト卓話 米山奨学生 王 天順さん

【歌物語③「故郷(ふるさと)」】

2022年12月2日例会にて歌唱

歌唱委員 泉 省平

皆さんのなかで、群馬県・高崎市以外に故郷をお持ちの方は何人くらいいらっしゃいますでしょうか。また、両親または片親がいらっしゃる方は、

それなりの方が群馬・高崎以外に故郷、又は両親、片親を持たれていることが分かります。

故郷や異郷にあつてふと幼い日々を思い出すとき、思わず口をつく歌が「故郷」です。お年寄りから子どもまで、すべての日本人が心も声も合わせて歌うことができるのは、この歌しかありません。

同じ日本といっても、北海道と沖縄ではずいぶん風景が違います。故郷と言われて思い出す光景は、出身地によってまったく異なります。

北海道東部の海沿いの港町に生まれた私は、故郷と言えば海を思い浮かべるのです。でも「故郷」には海は出てきません。なのに、この歌を歌い聴いたとき、だれもが山紫水明の故郷をイメージします。

作詞は長野県出身の東京音楽学校(現東京芸大)教授の高野辰之、作曲は鳥取県出身の同じく東京音楽学校教授の岡野貞一です。

「うさぎ追いしかの山 小鮎つりしかの川…」
長野県永江村(現在の中野市)のこの一帯では、大正時代まで2月下旬に「兎追い」をしました。山のふもとに子供たちが一列に並び、大声を上げながら雪山を駆けまわります。驚いて逃げるウサギを待ち伏せた猟師が鉄砲で撃つ。獲物は小学校の校庭でウサギ鍋にして食べました。肉が手に入りにくい時代には、とりわけ貴重な冬のたんぱく源だったのです。

「かの山」とは、長野駅から30分、千曲川が大きく湾曲したところにある替佐駅から近くに見える二つの山がある。右が大平山、左が大持山でこれが「かの山」で抽象的などかの山ではなく具体的な山なのです。

またそばに真宝寺というお寺があり、その寺のわきの小道を下ると小川が流れていて「はん川」と言い、それが「かの川」です。川もまた具体的な川を指すのです。

2番は両親のこと、昔からの友達のことを歌っています。

3番の冒頭の詩「志をはたして いつの日にか帰らん」を歌いますと、何とはなしに胸が切なくなり、込みあげるものを感じますがいかがでしょうか。

決して総理大臣になるとか、大企業の社長になるとか、いわゆる立身出世を言っているのではなく、自分の背丈に合った夢を果たしていつの日にか帰りたいものと歌っているのです。